

児童が生きいきと活動し、自分のよさを伸ばす学習指導の工夫

—单元学習の方法による説明的文章の読み取りを通して—

浦添市立当山小学校教諭

福 里 敦 子

目 次

I	テーマ設定の理由	1
II	研究の目標	2
III	研究の仮説	2
IV	研究内容	2
1	単元学習について	2
2	自己学習力について	3
3	生きいきと学習し、自分のよさを伸ばす指導	4
4	説明文を読む意義	4
5	説明的文章の指導において重視した事項	4
6	説明的文章を読む動機	4
7	説明的文章を情報と見る立場からの指導	5
V	授業実践	5
1	単元名	5
2	単元について	5
3	単元目標と主な指導事項	5
4	教科書教材「めだか」について	5
5	教科書教材「いるかのひみつ」について	6
6	指導計画	6
7	展開と結果・考察	7
VI	研究の成果と課題	19
1	成果	19
2	課題	19
	おわりに	19
	主な引用文献・参考文献	20

児童が生きいきと活動し、自分のよさを伸ばす学習指導の工夫

— 単元学習の方法による説明的文章の読み取りを通して —

浦添市立当山小学校教諭 福里敦子

【要約】

児童の興味、関心、問題意識を発端に学習を組織する「単元学習」の考えを踏まえ、説明的文章の指導を、教室環境を整え児童の興味、関心を喚起し、工夫したワークシートの活用によって読み取る力を伸ばし、調べた事を「絵本」に表し読み取る力、表現する力を広げる学習活動組み込み、指導方法を工夫、改善した。

その結果、児童が生きいきと取り組み、自分のよさを伸ばす充実した学習が展開できた。

キーワード 単元学習、興味・関心を誘う教室環境、読み取りを助けるワークシート、絵本作り、ひとままとまりの活動

I テーマ設定の理由

近年、児童の国語嫌いが、増えつつあると言われている。それは、児童の「ことばの力」、すなわち、「考える力」、「想像する力」が衰えてきたという事であり、テレビ、マンガ等ビジュアルな映像情報の影響が強いものと思われる。

このような児童に言葉の世界への興味、関心をいだかせ、主体的に学習に取り組み、自分自身の言葉の世界を広げさせるこよにより、豊かな言葉の担い手へと成長していく支援策を考える必要がある。

児童は、各人その発達や興味、関心、感じ方、考え方において違いがあり、他の人とは違ったその子の持ち味である「個性」、言いかえると「よさ」を持った存在である。

児童は、日々、自分をとりまく世界のありようから課題を見つけ、それを自分の「よさ」を生かして、いろいろ試みながら世界について既存の理解を改めたり、解決をしたりして成長している。

現在の社会状況は、情報化、国際化、高齢化、多様化の特徴があり、21世紀へ向けての課題として

- ① 情報操作処理能力としての〔言語情報の操作処理能力〕
- ② 言語能力と結びついた〔世界認識〕や言語の違いを越えて機能する〔論理的思考力〕
- ③ 産業発達の急激な社会での絶えざる学習の必要や平均寿命の伸びによる生涯学習への基礎

となる〔自ら学ぶ力〕

- ④ 価値観の多様化による〔個性の尊重〕が浮き彫りにされる。

このような児童観や課題に照らして、自らの指導をふり返ると「一人ひとりのよさを大切に、自分のよさを伸ばす授業」「楽しくよくわかり、国語の力を適正に育てる授業」を目指した指導の工夫、改善が迫られる。

従来の「教材」を中心とした学習を改め、児童の興味、関心、問題意識を中心に学習を組織し、国語の力をつけていく必要がある。

そのためには、「児童の興味、関心、問題意識をもつべきものにもたせ、必要感をもって学ぶ学習」「つけていく力が先にあり、そういう能力をつけていくのに適切な教材が考えられていく指導」「指導者の指導目標と学習者の『～したい』という学習目標が併存して学習を進める。」このような指導こそ真のことばの力「生きる力」「学ぶ力」が育っていくとする【単元学習】の考え方を踏まえた指導方法を取り入れ、指導法の工夫、改善を図っていきたい。

「学び手の興味、関心、必要に根ざす話題をめぐって組織されるひとままとまりの価値ある活動を通して、ことばの力、生きる力、学ぶ力を適正に育てる」単元学習の理論、方法を研究し、「説明的文章の読み取り」の指導を工夫、実践することにより、児童が生きいきと活動し、自分のよさを伸ばす学習が実現

できものと考える。

Ⅱ 研究の目標

- ① 説明的文章の読み取りで、児童が生きいきと活動し、自分のよさを伸ばす単元学習の指導の工夫
- ② 説明的文章の読み取りを助けるワークシートの工夫

Ⅲ 研究の仮説

- 1 「教室でのメダカの飼育による学習環境作り」、「学級文庫への生き物に関する図書の整備による学習雰囲気作り」、「小川の生き物についての16ミリ映画による情報提供」を通して、「生き物」に対する児童の興味、関心を呼び起こし学習へつなげる事により意欲的に学習に取り組むであろう。
- 2 イメージ豊かに読み取り、考える活動を助けるワークシートを工夫、改善することにより論理的思考力を育て、生きいきと主体的に活動し自分のよさを伸ばす学習が可能となるであろう。
- 3 児童に、『生き物ふしぎ発見「絵本」を作ろう。』と学習活動の目標を持たせ、自分で調べたり、聞いたりしたことを文章に表したり、発表したりする「実の場」を設定することにより、生きいきと活動し自分のよさを伸ばす学習が実現するであろう。

Ⅳ 研究内容

1 単元学習について

単元学習を総括的に捉えると、学習者中心の授業で、学習者の言語生活を基盤とし学習者の興味関心を尊重し、それと社会的必要との調和的接点に組織される。そして、単元学習は目標を達成していくための作業や活動を重要視する。ねらう国語の能力・技能・態度が明らかにされ個に応じた学習であるといえる。

(1) [学び手の興味、関心、必要に根ざす]

国語の学力は、学習者が本気で主体的に取り組んでこそ伸びる。そのような学習を展開していくためには、まず学習者の興味、関心、必要感か

ら出発する。指導者は、あたかも児童のほうから興味、関心を強めていったかのようにさそいさなければならぬ。そして、教科内容が、学習者の「学習したいこと、学習の必要が感じられること」へと転化されなくてはならない。

学習が学習者の目的行動によって展開される。その目的行動は、何かを知ることであったり、何かの問題を解決することであったり、何かを表現することであったり、何かにはたらきかけることである。

学習者の目的行動展開の過程で、聞く、話す、読む、書くの言語活動を組みどのような言語能力が必要とされるのかを明確化し、それらの言語能力が育つような言語活動をさせなければならない。

(2) [話題の選定]

学び手の興味、関心、必要に根ざした話題の中から学習話題を選定する祭、①自己、②人間、③自然、④言葉と文化、⑤歴史に区分することができ国語の学習として展開できる話題を具体的に考える。

(3) [価値ある学習活動]

人間的発達の総体と関わりあう国語学力の伸長を図る。

(4) [言葉の力、学ぶ力、生きる力を適正に育てる。]

学習者の生活と要求に根ざした総合力としての言語能力や学ぶ力が生きる力と結びつく学習。

(5) [連続性、変容性(柔軟性)、関連性という特色を持っている。]

(連続性) 学習者に成功経験を与え、成功感を味わわせるためには、ある仕事のまとまりを組立て、そのまとまりに要する時間の連続が前提となる。すなわち、学習者が、ある目的のために探したり、見付けたり、調べたり、まとめたりするひと続きの学習活動よりなっている。

(変容性) 必要に応じて調査、研究、整理の対象や方法を変える。その場所へ足を運んだり、話し合いをしたり、模造紙に書いたり、図表にまとめたり等する。

(関連性) 表現と理解の関連、個人や小集団の

活動のからみあい、言語活動と非言語活動との結びつき等の総合が行なわれる。

(6) [構成原理]

活動と学力とを明確にする。(どんな活動で、どんな学力の習得を図るかを明らかにする。)場(シチュエーション)と興味(インタレスト)を生かす活動を必然とする。

主体が生きる場をとらえ、興味、関心、問題意識を触発し、活動のばねとする。

(7) [種類]

言語単元＝言語研究単元

言葉の不思議、なぜ、おもしろさ、使い方などに目をつけ、言葉を調べる。調査、研究の幅をどこまで広げるかによって、単元の大きさがきまる。問題の解決に向けての情報の収集、活用が活動の中心であり、それに関する能力が学習内容である。この単元では、問題の解決に向けての情報の収集、活用が活動の中心であり、それに関する能力が学習内容となる。

言語技術単元＝言語練習単元

聞き取りの力を養うための練習や正確に伝えるための話し方練習、効果的に表現するための言語表現の練習など、児童が必然とする場をとらえたり、積極的に取り組むように組織した学習である。

話題単元＝総合単元

一つの話題(あるいは主題、問題)を中心に、それらを明らかにするためには複数教材を用いて、情報収集、活用の活動や討論活動、発表活動など、言語活動を総合的に組織した学習である。総合単元の核は、活動目標である。活動目標は、話題(主題、問題)と活動とによって構成される。ある話題を中心とした複数教材による多様な活動として組織される。

この単元は、①言語能力、②言語活動、③話題で構成されている。

言語能力は理解領域における問題追求の能力、情報の収集、整理の能力、認識の形成、拡充の能力や、表現領域における情報生産の能力、言語による発表、報告の能力からなる。

言語活動は、情報の収集、整理活動、発表の情

報の生産活動にわけられる。

話題は、言葉、人、くらし、学校、伝統、文化、現代社会、自然、郷土に関する話題に分けられる。

教材単元＝読み物単元

児童の教材に対する関心を読みの追求のばねとした活動である。教科書教材も、児童の読みと追求活動の一まとまりを大切に学習として位置付け、教材単元を組織することができる。

(8) [単元学習における国語の学力]

国語の学力を実生活上や、似た教科の学習を進めるための基本的な習慣や態度、自己を高め文化を広めていくための基本的な知識理解、言語面における基本的な技能と考え、問題の解決に向けての情報の収集・活用が活動の中心であり、それに関する能力が学力である。

2 自己学習力について

自己学習力は、一人ひとりの子供が、心身の発達とその発達の特徴に応じて、それまでのいろいろな生活経験をいかしながら、ひいては自己実現を遂げていくより主体的な適応能力、学習能力であるといえることができる。言いかえると、いっそう具体的な次元においての学習そのものを意味すると解され、一定の時と場所において特定の目標を自ら志向もしくは設定しながら、それに応ずる理解、態度、技能などを自らの努力によって習得することといえる。

次の5つの性質を持っている。

(1) 内発性

学習への方向付け、学習活動の喚起と持続が、外部からの強制や動機づけによるのではなく、学習者自身の内的要求に基づいて内発的に動機付けられる。

(2) 自律性

学習課題や目標の選定、決定、学習方法の採択など自らの判断によってなされることや学習結果が自らの基準に基づいて評価される。つまり、学習に関する意志決定が自律的になされる。

(3) 達成志向性

何らかの外的報酬の獲得によるのではなく、学習目標そのものの達成が報酬的役割を持つ。

(4) 価値志向性

自己の知識や技能の向上、ひいては自己成長を促すと言うかたちに志向する。

(5) 遊戯性、快楽性

学習活動に何らかのおもしろさのしさが付随するもの。

3 生きいきと学習し、自分のよさを伸ばす指導

子供たちは自分を取り巻く世界と関わりながらいろいろなことを学び取っている。言いかえるともって生まれた可能性（よさ）を生かしながら世界と関わり、世界を理解するとともに自分らしい世界とのかかわりかたをつくりあげている。世界とは、自然や社会、文化などである「学習すること」を通じて世界を対象化（意識化）し、対象のしくみや構造を明らかにすることによって「意味」を知り、さらに自分の想像力や思考力を働かせて内的世界を創造していく。このような自分知の獲得は、学ぶことの喜び、楽しさに支えられている。よって、知識や課題についての受動的、苦役的学習ではなく、新しい対象世界と出会い、新しい意味内容を獲得することに伴う「学ぶことの喜び、楽しさ」を感得させる学習が重要と考える。

また、自分のよさ、すなわち個性は他との交流によって明らかになるものであるので、個性をもって授業に参加し、互いの交流によって個が高められるような指導をめざさなければならない。

授業において、「個をもつ」「個を磨き合う」「個を拡げる」過程を展開し、「個をもつ」過程では課題の発見に適切な動機を与え、課題への取り組みにその子なりの持ち味をいかし、自力で学習対象に取り組む場と時間を保障する。「個を磨き合う」過程では他との交流、話し合いを中心とした思考を練る場を設ける。「個を拡げる」過程では、生きる子へ拡げる場面、個を発展させる場として、その子なりの発想を生かし、自力で解決する時間と場を設定する。そして、相互、自己評価で満足や喜びを味わわせることが条件として考えられる。

4 説明文を読む意義

- ① 説明文に盛られている知識、情報を正確に理解し摂取する。
- ② 説明文読解の技術を習得する。
- ③ 説明文読解を通して、論理的思考力を高める。
- ④ 知識や情報を生活に適用し、人間変革に役立てる。
- ⑤ 説明的表現方法を知り、作文に役立てる。

5 説明的文章の指導において重視した事項

- ① 学習計画を工夫（子供の発想、アイデア、体験活動、作業）
- ② 興味関心を生かす（題材、事例、事柄）
- ③ 知的好奇心を生かす（初めて知った驚き）
- ④ 自力読みをする（ワークシート、一人調べ、分かったこと）
- ⑤ 活動のめあてを意識して学習する（学習意識、目的の自覚）
- ⑥ 問題提示の文に気をつける（話題提示、序論）
- ⑦ 結論の文に気をつける（頭活、尾活、双活）
- ⑧ 段落意識を持つ（カード、小見出し、図式化）
- ⑨ 中心文、中心語句を見つける（意味内容、小見出し）
- ⑩ 重要語句に気づく（何度も出てくる語句、選り抜かれた語句）
- ⑪ 要点を捉える（サイドライン、語句の練習）
- ⑫ 集団思考を高める（対話、フリートーク、話し合い）
- ⑬ 伝え方、表し方を学ぶ（絵本作り、説明文作り）
- ⑭ 知的感動を体験する（発表会、展示）

6 説明的文章を読む動機

- ① 問題解決や課題の追求に必要な知識、情報をもとめて読む。
- ② はっきりした目的意識を持たない状態で、ある文章に出会い、その題材やテーマに知的興味を覚えて読み始める。

7 説明的文章を情報と見る立場からの指導

現代社会は情報化社会へと急速に変化し、社会の状況に対応した言語能力の育成が求められる。つまり情報を主体的に取り扱うことのできる能力を養うことが要求される。

そのような言語能力の基礎を育てるためには、説明的文章を情報として読み、情報を認識し、情報を伝達する論理的思考の仕方を学ばせる必要がある。学習者が主体的な問題意識を持って、情報を検索、吟味、整理、収集し、さらに情報を生み出すような一連の学習活動の展開が考えられる。

意味と形式を持った言葉の学習としての側面と意味内容を理解して知的要求を満たす情報学習という面からの指導が考えられる。まとめると、

①情報の読み方、分かり方を学ばせる。②情報の表し方、伝え方を学ばせる。③情報の求め方探し方を学ばせる。④情報の分かり方や表し方を明快、明確にする思考の仕方を学ばせる。の四項目が挙げられ、これらは別々の学習単元によって指導するのでなく総合的、有機的に組織し展開することによって説明的文章の学習が活性化すると考えられる。

V 授業実践

1 単元名 生き物のふしぎな世界を探険しよう

2 単元について

理解と表現の二つの領域を学習内容とする活動を組み合わせて単元を構成した。

児童は、教室で飼っているメダカや16mm映画の「小川で見つけたメダカやゲンゴロウたち」を見る事によって生き物への興味を強くし、教室で「キノボリトカゲ」などの動物を飼い始めた。

この機を捉え、これを学習へ広げていくように手立てし、「生き物のふしぎ発見『絵本』を作ろう」と、聞いたり、見たり調べたりしたことを、『絵本』にして表現する活動目標をもたせた。

読み取ったことをまとめ、『絵本』として表現することにより、それぞれの個性的な読みを大切にしながら豊かな充実した学習が展開できるようにした。

友達、父母、地域との関係を意識し、情報の収集、

伝達の過程を経験させ、生きて働く国語の力がつくと考えられる「実」の場を設定し、指導にあたった。

児童の生き物への興味関心を手がかりに、自ら課題を見つけ、調べていこうとする主体的な姿勢で学習の計画をし、資料を探し求め、その内容を読み取り、それを自分の言葉で表現していく一連の活動を展開し「言葉の力」、「学ぶ力」を培っていくことができるよう意図した。

そして、その間に教科書の共通教材「めだか」と「いるかのひみつ」で、要点を押さえた内容の読み取りの学習を組み込み、その学習でつけた力を次の課題解決学習へ生かしていくようにした。

3 単元目標と主な指導事項

(1) 学習のめあてを持ち、疑問に思ったことや興味関心をもったことを深めるために進んで読書したり調べたりする。〔関心、意欲、態度〕

(2) 大事なことを落とさず、めだかの身の守り方について読み取る事とができるようにする。

◎ 文章の要点を正しく理解しながら内容を読み取る。〔理解〕

(3) 生き物の生態や体の仕組みの本を探して読み、おもしろいと思ったこと、知らせたい事を『絵本』にまとめることができるようにする。

◎ 文章に書く必要のある事柄を選び整理してから書く。〔表現〕

(4) 自分で作った生き物のふしぎ発見『絵本』を紹介する。

◎ 話の要点がわかるように、くぎりを考えて話す。〔表現〕

4 教科書教材「めだか」について

文章の論理をふまえて情報を的確に把握させることを意図した説明文教材である。「めだか」は、たくさんの敵からさまざまな方法で身を守り、そして、自然の厳しさに耐えながら生きていることが説明されている。構成を見ると、全体で14段落、4つの大段落からなる尾括型の文章である。三年生の子供たちは、自然事象や現象への興味や関心が強い。それで日頃児童が慣れ親しんでいる「めだか」の生態が

説き明かされてた本教材は、興味の持てる説明文である。

この説明文の読み取りを通して、要点を正しく理解し、書かれている事柄を正確に読み取る力をつけるとともに、文章を貫ぬく筋道だった論理的な考え方を学び、自然の知恵や逞しさに気づき感動する心や態度が養われるものと思われる。

5 教科書教材「いるかのひみつ」について

いるかは、児童にとって、水族館でよく見かけるなじみの動物である。児童はいるかに対して輪くぐりや曲芸などができるかしこい動物だという印象を持っている。

いるかは真っ暗な海や、にごった水の中でも時速50キロメートルのスピードで自由に泳ぎ回ることのできる能力を持っている。

そのいるかの能力のひみつを、それを解明したケログの実験に沿って、論理的文章で説明している。

全体で15段落からなり、ケログの抱いた疑問、推測と行なった実験について書かれた大段落(二)、こうもりにヒントを得た音の収集実験について書かれた段落(四)が話題の中心である。いるかの能力とケログを紹介する導入の部分である大段落(一)、課題提示の階落である大段落(三)、まとめの大段落(五)の五つの大段落(意味段落)に分けられる尾括型の文章構成である。

知的好奇心を喚起する発展読書教材で、新たな説明的文章の読みへと発展していくことが期待される。

6 指導計画

第一次 [「めだか」は、どのようにして敵から身を守っているのかを読み取る。]

- (1時) …日常生活や本の中の生き物について、興味関心を持つことができる。
- (2時) …学習課題を見つけ、学習の計画を立てることができる。
- (3時) … [1] [2] 段落を読み、「めだか」についてイメージをひろげ、書かれた大事な内容を読み取ることができる。
- (4時) … [3] [4] 段落を読み、「めだか」は、

たくさんの敵にねらわれながら、身を守り生きている様子を読み取ることができる。

(5時) … [5] 段落を読み、「めだか」の身の守り方について読み取ることができる。
(本時)

(6時) … [6] 段落を読み、「めだか」の身の守り方を読み取ることができる。

(7時) … [7] [8] 段落を読み、「めだか」の身の守り方を読み取ることができる。

(8時) … [9] [10] 段落を読み、何日も雨が降らないときの「めだか」の様子を読み取ることができる。

(9時) … [11] 段落を読み、何日も雨が降らないときの「めだか」の様子を読み取ることができる。

(10時) … [12] [13] 段落を読み、大雨の時の「めだか」の様子を読み取ることができる。

(11時) … [14] 段落を読み、まとめの段落の要点を読み取ることができる。

第二次 [「いるか」の物を見分ける能力を説き明かす実験について読み取る。]

(1時) …ケログの実験(目に関すること)で、いるかについてあきらかになった内容を読み取ることができる。

(2時) …ケログの実験(音に関すること)で、いるかについてあきらかになった内容を読み取ることができる。

第三次 [各自の課題解決学習をする。]

(1時) (2時) …各自の課題について、図書を使って読み取ることができる。

(3時) (4時) …要点をおさえて絵本の文を書くことができる。

(5時) …文に合った絵を描く。

(6時) …一冊の絵本ののにまとめる。

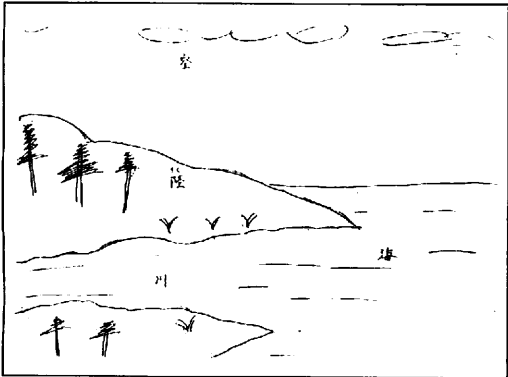
(7時) …表紙の題名を書き入れて装丁する。

(8時) (9時) …自分の絵本を紹介する。

7 展開と結果・考察

1次授業仮説 ●メダカの飼育 ●図書の整備 ●16ミリ映写による学習を行なえば生き物への興味関心が
高まり、知的な興味、疑問を書き出すことができるであろう。

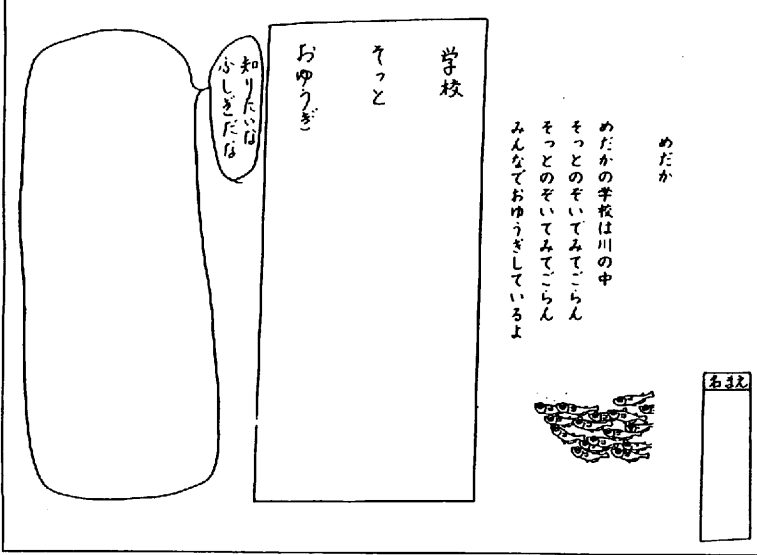
1時…日常生活や本の中の生き物について、興味、関心を持つことができる。

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	結 果
<p>1 学級で飼っているメダカの様子を観察し、世話をする。</p> <p>2 16mm映画、「小川で見つけたメダカやゲンゴロウたち」を見る。</p> <p>3 発見カードに「知りたいな」「不思議だな」と思う事を記入して生き物ふしぎ発見マップに貼る。</p> 	<p>○ 学級文庫に生き物についての図書を備え、生き物へ興味、関心をもたせるようにする。</p> <p>○ 学級に水槽を設置し、メダカを飼い、観察、世話を通し生き物へ親しませる。</p> <p>○ 映像で生き物の様子を知り、自然界の生き物へ興味、関心、感動を持たせる。</p> <p>○ 空、陸、海の絵を描いた生き物ふしぎ発見マップを掲示し、随時貼る事ができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 興味深く読み、「図書館にこんな本があるのね。」と感想を述べた。 ・ 交替で世話をし、じっと観察をしていた。 ・ 映写を見て後「楽しかった。」「おもしろかった。」と感想を述べた。 ・ 知りたいこと、不思議なことを書き貼り出す事ができた。 <p>〈例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ ゲンゴロウの足にはなぜ毛が生えているのか。 ◇ カモメは海の上だけをとぶのか。 <ul style="list-style-type: none"> ・ クワガタやキノボリトカゲ等の昆虫を教室で飼い始めた。 ・ 虫を持って来て、名前を尋ねた。
<p>考察 ・ 1時の前に「いき物について知りたい事がありますか。」の質問に答えたのは1人であった事と照らし合わせると、生き物への興味、関心、疑問が高まったと考えられる。</p>		

2時…学習課題を見つけ学習計画を立てる事ができる。

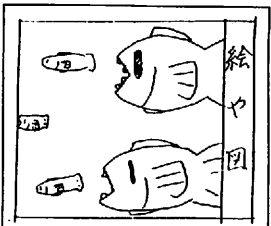
学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	結 果
<p>1 「知りたいな」「ふしぎだな」と思う課題を見つけ、解決までの見通しを持つ</p> <p>① 調べたい順に番号をつける。</p> <p>② 調べる方法について話し合う。</p> <p>③ 調べたことをどのように役立てるか話し合う。</p> <p>2 学習のめあてを決める。 活動目標を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">生き物ふしぎ発見「絵本」を作ろう。</div> <p>3 学習の順序について話し合う。</p> <p>① 「めだか」の学習 ↓</p> <p>② 「いるかのひみつ」の学習 ↓</p> <p>③ 自分の課題を解決する。 ↓</p> <p>④ 「絵本」にまとめる。 ↓</p> <p>⑤ 紹介する。</p>	<p>○ カードに記入した事項について検討させる。</p> <p>○ 主に図書を使って調べることを確認する。</p> <p>○ 見つけることのできなかつた児童には、学習を進めていく途中で書いてもよいこと、変更があつてもよいことを確認する。</p> <p>○ ペープサート、紙芝居、新聞等種々の方法を挙げさせ、今回は「紙芝居」に表し友達や先生、家の人に読んでもらうことにする。</p> <p>○ 発表会を持つことも話し合わせる。</p> <p>○ 読み取つたことを自分の言葉でまとめ、絵を入れ、読み手に興味深く読んでもらえる「絵本」にまとめることを話し合わせる。</p> <p>○ 説明文の読み取りの方法と説明の仕方について学習することを確認させる。</p> <p>○ 絵本を10冊程用意し、絵本の特徴をしっかりとつかませる。 2、3冊読み聞かせをする。</p> <p>○ 学習の順序を模造紙に書いて、学習が終了するまで掲示しておく。</p>	<p>◎ 児童の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本で調べる。 ・先生に聞く。 ・父母に聞く。 <p>◎ 児童の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新聞 ・紙芝居 ・絵本 ・ペープサート <p>◎ 児童の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵と文で表されていて、ページが書かれている。 ・表紙には本の名前が書かれ、絵が描かれている。

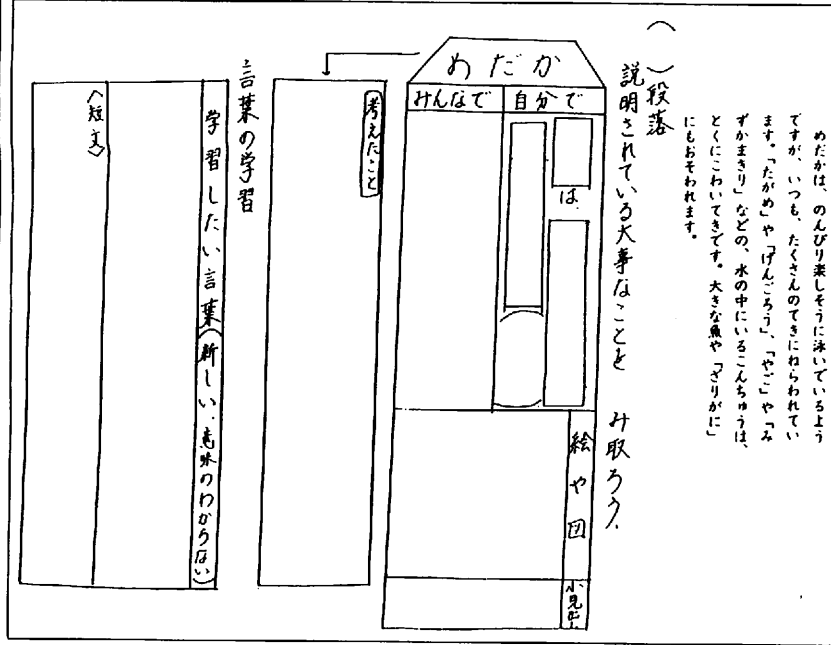
3時…「めだか」についてイメージをひろげ、書かれた大事な内容を読み取ることができる。

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	結 果
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>◎ めだかについて書かれた大事なことを読み取ろう。</p> <p>2 「めだか」を話題にし、知っていることを話し合う。</p> <p>3 1段落の「めだかの学校」を斉唱し、めだかに興味、関心を持たせる。</p> <p>① 「めだかの学校」を斉唱する。</p> <p>② 歌詞に表現されているめだかの様子について話し合う。</p> <p>③ 感じたこと、思ったこと、不思議だ、知りたいと考えたことをワークシートに書き発表する。</p> <p>ワークシートNo.1</p>	<p>○ 1、2段落の学習であることを確認する。</p> <p>○ 学級で飼っているめだかの様子を話し合わせる。</p> <p>○ めだかの学校のテープを用意する。</p> <p>○ 一つひとつの言葉を大切に、表現されているめだかの様子を視覚的イメージを描きながら読み取らせるようにする。</p> <p>○ 「学校」「そっと」「おゆうぎ」の言葉に目を向けさせる。</p> <p>○ めだかについての疑問を書かせる。</p>	<p>◎ 児童のワークシートより抜粋</p> <p>◇言葉からのイメージ「学校」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなであつまっている ・なかよくしている <p>「そっと」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しずかに ・にげてしまので <p>「おゆうぎ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイスイ泳ぐ <p>◇めだかについての疑問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかは水の中もはっきり見えるのかな ・めだかのほかにもたいぐんを作って泳ぐ魚はいるの？
<p>4 2段落を読み、めだかの住みかや体長について読み取る。</p> <p>① 音読をする。</p>		

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	結 果				
<p>② 新出語句や意味のわからない言葉について話し合う。</p> <p>③ 各自で読み取りをする。〔自力学習〕</p> <p>④ 読み取りをもとに説明されている大事なことを話し合いまとめる 〔全体での学習〕</p> <p>⑤ 読み取った事について、説明の絵や自分の考えを書く。</p> <p>⑥ 語句のまとめをする。</p> <p>ワークシートNo. 2</p>	<p>○ ワークシートに書き込ませる</p> <p>○ ワークシートをもとに各自の読み取りをし、発表させる。</p> <p>○ 発表させ、聞き合うことにより、考えを深め、広げさせる。</p> <p>○ イメージを広げ、主体的に読み進める事ができるように絵や考えを書かせる。</p> <p>○ 言語事項の指導も組み入れる</p> <p>○ ワークシートには</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で要点を読み取る欄 ・みんなで話し合い要点をまとめる欄 ・読み取ったことの絵や図を書き込む欄 ・小見出しをまとめる欄 ・言葉の学習の欄 <p>を設け書き込ませる。</p>	<p>◎ 児童のワークシートより抜粋</p> <p>◇要点(自力学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかは小さい魚です。 ・めだかは小さいです。 ・めだかは3、4cmにしかならない。 <p>◇考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかの体長は長生きしても3、4cmなの？ ・めだかは小さいんだな。 ・どうしてこんなに小さいのかな <p>◇短文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かぶと虫の体長は6cmです。 ・金魚の体長は4cm、5cmくらいです。 				
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>言葉の学習</p> <p>学習したい言葉(助い意味の知らない)</p> <p>短文</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;"> <p>考えたこと</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めだか</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 50%;">みんなで</td> <td style="width: 50%;">自分で</td> </tr> <tr> <td style="height: 100px;">は</td> <td style="height: 100px;">は</td> </tr> </table> <p>絵や図</p> <p>小見出し</p> </div> <div style="margin-left: 10px;"> <p>() 段落</p> <p>説明されている大事なことを読み取り、</p> <p>考えたこと</p> <p>ふくまらせた、小川や池の水面近くは、めだかすがたをあらわします。めだかは、たいへん小さな魚です。体長は、三、四センチメートルにしかならないです。</p> </div> </div>			みんなで	自分で	は	は
みんなで	自分で					
は	は					
<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージをふくまらせて読み取り、めだかへの疑問を持つことができた。 ・自力学習の方法を知り、生きいきと意欲的に活動することができた。 ・言葉を意識し、短文を作る事ができた。 						

4時…「めだか」は、たくさんの敵にねらわれながら、身を守り生きている様子を読み取ることができる。

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	結 果
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>◎ めだかについて書かれた大事な事を読み取ろう。</p> <p>2 3段落を読み、めだかには、「たがめ」「げんごろう」「やご」「みずかまきり」「大きな魚」「ざりがに」等の敵がたくさんいる事を読み取る。</p> <p>① 音読をする。</p> <p>② 新出語句や意味のわからない言葉について話し合う。</p> <p>③ 各自で読み取りをする。</p> <p>④ 読み取りをもとに、説明されている大事な事を話し合いまとめる。</p> <p>⑤ 読み取った事について説明の絵や自分の考えを書く。</p> <p>⑥ 段落の小見出しをまとめる。</p> <p>⑦ 語句のまとめをする。</p> <p>ワークシートNo.3</p>	<p>○ 「たがめ」「げんごろう」「やご」「みずかまきり」「ざりがに」を写真で確認させる。</p> <p>○ キーワード「てき」を押さえて読み取らせる。</p> <p>○ イメージを描き、楽しく主体的に読み取るようにさせる。</p> <p>○ キーワードから導く。</p>	<p>◎ 児童のワークシートより抜粋</p> <p>◇要点(自力学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかはいつもたくさんのてきにねらわれている。 <p>◇考えたこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかって、てきにねらわれやすいんだと思った。 ・やせいのめだかはてきにねらわれてたいへんだ。 <p>◇短文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしも、めだかみたいにスイスイ泳ぎたいな。
<p>3 4段落を読み、課題を提示している文であることを知り、要点をまとめる。</p> <p>① 音読をする。</p> <p>② 新出語句や意味のわからない言葉について話し合う。</p>		<p>◇絵や図</p>  <p>◎ 児童のワークシートより抜粋</p> <p>◇要点(自力学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めだかはどのようにして身を守っているのでしょうか。



学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	結 果
③ 各自で読み取りをする。(自力学習) ④ 読み取りをもとに説明されている大事な事を話し合いまとめる。 ⑤ 小見出しをまとめる。 ⑥ めだかの身の守り方について自分の予想をたて、ワークシートNo.4に書く。 ⑦ 発表する。 ワークシートNo.4	○ 「では」「そのような」「どのように」の言葉をおさえさせる。 ○ 論理的、科学的思考をさせつつ読ませるよう自分の予想を書せる。 ○ 発表させ、いろいろな考えを知らせる。	・めだかはどのようにして身を守るのがか。 ◇予想 ・わたしがめだかだったら、すばやいいきおいでにげまわります。 ・かくれる。 ・わたしがめだかだったら、むれを作って、すごいでかさかなにへんしんです。 ・わたしがめだかだったら、てきのきらいなものにばける。 ・石の下とかにかかれる。
考察 ・自力学習の仕方が身に付きはじめ、読み取りの力も向上してきた。 ・予想を考える事により、事実に対する知的興味が高まり考えながら読み進める事ができた。 ・他の人の多様な考えを聞く事により、よさに気付く事ができた。		

検証授業 (第5時)

平成9年6月18日(水) 3校時

3年2組 男19、女18 計37人

1 ねらい

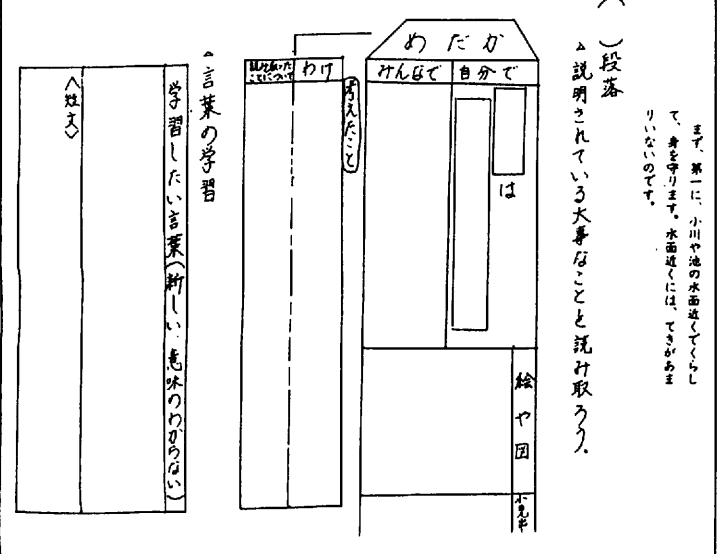
〔5〕段落を読み、「めだか」の身の守りかたについて読み取る事ができる。

2 仮説検証のてがかり

ワークシートに沿って学習を進めることにより、

- (1) 課題解決の糸口を見つけ要点を的確に把握する事ができる。
- (2) イメージ豊かに想像し、集中して聞き、熱心に書き、進んで発表する生きいきとした学習展開が可能となる。
- (3) 思考が練られ、論理的思考力が向上する。
- (4) 自力学習をする事により、主体的学習態度が身に付く。
- (5) 言葉に注目し、言語感覚を磨く事ができる。

3 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 の 観 点
<p>1 本時の学習のめあてを確認する。</p> <p>めだかの身の守り方を読み取ろう。</p> <p>2 「5」段落を読み、身を守る第一の方法を読み取る。</p> <p>① 音読をする。</p> <p>② 新出語句や意味のわからない言葉について話し合う。</p> <p>③ 文章表現の意味理解をする。</p> <p>④ 各自で読み取りをし、ワークシートNo.5に書く。 ワークシートNo.5</p>	<p>○ めあてを書いたカードを提示する。</p> <p>○ 教師の後について読ませる。</p> <p>○ 指名読みをする。</p> <p>○ ワークシートの言葉の学習の欄に書き込ませる。</p> <p>○ まず、第一に、「～のです。」の言葉をおさえさせる。</p> <p>○ めだかのようにすをイメージ化させる。</p> <p>○ キーセンテンス（水面近くでくらす）を見つけさせる。</p>	<p>・意欲的に音読をしているか</p> <p>・音読ができるか。</p> <p>・学習したい言葉を見つけていることができるか。</p> <p>・意味理解ができるか。</p> <p>・集中して聞けるか。</p> <p>・熱心に取り組んでいるか。</p>
	<p>○ 戸惑っている児童には、助言する。</p> <p>○ 読み取れない児童には、段落を構成している2つの文章について、前段落を受けた叙述の文に相当する方を見つけさせ、まとめさせていく。</p>	<p>・その子なりにまとめる事ができたか。</p> <p>・考えることができるか。</p>
<p>⑤ 話し合い要点をまとめる。</p> <p>めだかは水面近くでくらして身を守る。</p> <p>○ 結論の文からその理由を自分なりに考える。</p> <p>○ 文章に書かれている理由を読み取る。</p> <p>水面近くは、てきがありませんからです。</p>	<p>○ 結論→理由の叙述であることをしらせる。</p> <p>○ 想像を膨らませ、考えさせる</p> <p>○ ワークシートに書かせる。</p> <p>○ 「～からです。」の言葉に注目させる。</p>	

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	評 価 の 観 点
⑥ 読み取った大事な事について、説明の絵や自分の考えを書く。 ⑦ 段落の小見出しをまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">水面近くで身を守るめだか</div> ⑧ 語句のまとめをする。 ⑨ 次時の学習予定を知る。	○ 時間のある児童は、色もぬらせる。 ○ 話し合いまとめさせる。 ○ 短文を作らせる。	・ 絵や考えを書くことができるか。

4 結果

(1) 学習活動2について

- ・ 38人中37人の児童が一斉に音読に取り組み、意欲を示した。口が動いていない1名の児童については、今後、援助が必要である。
- ・ 挙手した児童の中から2人、指名読みをした。2人共すらすら読めた。
- ・ 言葉の学習では、[第]、[身] の言葉が挙げられた。
- ・ 各自で熱心に読み取りワークシートに記入していた。

(2) ワークシートの記載事例

① 要点の読み取りの例

◆ 読み取ることができた例

◇めだかは水面近くにすんでいる。◇めだかは水面近くでくらす。◇めだかは水面近くに身を守ります。◇めだかは水面近くに行き自分の身を守る。

◆ 読み取ることができなかった例

◇めだかは身を守っている。◇めだかは水面近くには敵があまりいない。

- ◎ まず、第一の言葉について全体で学習したこともあって98%の児童が要点を押さた読み取りをし、まとめることができた。

② めだかが水面近くでくらして身を守る理由を自分なりに想像した例

◇敵があまりこない。◇敵は深い所にいる。◇水面にはえさがある。

③ 読み取ったことについて考えた例

◇水面近くにはあまり敵がいないと、めだかはよく知っているのですごいなあと思いました。
 ◇ぼくは水面近くに敵はあまりこないとは思いませんでした。
 ◇どうして敵は水面近くにはこないのかと思いました。

④ 語句のまとめの例〔「身」という言葉を使った短文作り〕

◇自分の身を守る。◇動物はいろいろな方法で身を守る。◇生き物は自分のちえで身を守る。
◇剣道は自分の身を守る。◇しまうまがチーターから身を守る。

5 考察

児童は集中して聞き、書き、積極的に発表や板書をした。学習の過程でキーワードをもと書かれている大事なことを読み取る方法を知り、文章にまとめることができた。読み取りがに実になり読み取る力が伸びたと考えられる。そして、絵を楽しそうに生きいきと描き、考え確かめたこと、想像したことを豊かに書き表すことができた。短文作りでも言葉に対する意識を高めるたことができた。また、1人学習ができ、自力学習の力が高まったと考えられる。

6時…「めだか」の身の守り方について読み取ることができる。

7時…「めだか」の身の守り方について読み取ることができる。

8時…何日も雨が降らないときの「めだか」の様子を読み取ることができる。

9時…何日も雨が降らないときの「めだか」の様子を読み取ることができる。

10時…大雨の時の「めだか」の様子を読み取ることができる。

11時…まとめの段落の要点を読み取ることができる。

2次授業仮説 ●ワークシートの工夫、改善を行なえば生きいきと学習し論理的思考力が高まり、自力学習の力が伸びるであろう。

1時…ケログの実験（目に関する）で、いるかについてあきらかになったことを読み取ることができる。

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ケログのいるかの目に関する実験でいるかについてあきらかになったことを読み取ろう。</p> </div> <p>2 1段落から9段落までを読み、ケログの目に関する実験でわかったことを読み取る。</p> <p>①音読をする。</p> <p>②新出語句や意味の分からない言葉について話し合う。</p> <p>③各自で読み取りをする。(ワークシートに沿って学習する。)</p> <p>④読み取りをもとに「いるかののうりよく」「ケログの実験の目的、方法、結果」について話し合いまとめる。</p> <p>ワークシートNo.6</p>	<p>○いるかの能力へのケログのおどろき、気づきについて想像させ、ワークシートに書かせる。</p> <p>○どこで、またの続きの言葉を押さえ実験、結果を読み取る。</p> <p style="text-align: right;">ワークシートNo.7</p>


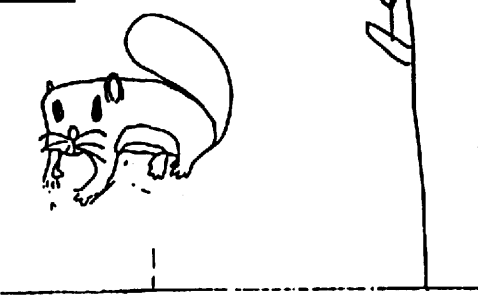
2時…ケログの実験（音に関する）で、いるかについてあきらかになったことを読み取る事きる。

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ケログのいるかの音に関する実験でいるかについてあきらかになったことを読み取ろう。</p> </div> <p>2 10段落から15段落を読み、ケログの目に関する実験でわかったことを読み取る。</p> <p>① 音読をする。</p> <p>② 新出語句や意味のわからない言葉について話し合う。</p> <p>③ 各自で読み取りをする。（ワークシートに沿って学習をする。）</p> <p>④ ケログの音の実験のヒントになった「こうもり」の能力、ケログの考えたこと、実験方法、結果について話し合いわかったことをまとめる。</p> <p>⑤ 文中のケログ博士へその考えや行動に共感したことを手紙文で書かせる。</p> <p>ワークシートNo.8</p> <div data-bbox="137 895 859 1424" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>△ケログが考えたこと</p> <p>△結果からケログが考えたこと</p> </div>	<p>○ ケログの次の実験の目的と実験を支える科学的な考え（条件消去）に気づき実験方法、結果を読み取る。</p> <p>○ 発展的に他の科学的な説明文へ読みが広がるよう、図書室には多くの読み物があることを紹介する。</p> <p>○ 他の科学的な読み物へ興味、関心を持つ。</p> <p style="text-align: right;">ワークシートNo.9</p>
<p>考察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設問に沿って読み取る事により科学的、論理的な思考力が伸び読み取りの力も伸びた。 ・想像力を発揮して読み、他の科学的読み物への興味関心が高まった。 	<div data-bbox="682 1440 1403 1961" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>△ケログは、いろいろ実験を考えた。何とつぎとりましたか（明らかなこと）</p> <p>こえにはケログはかせえ</p> </div>

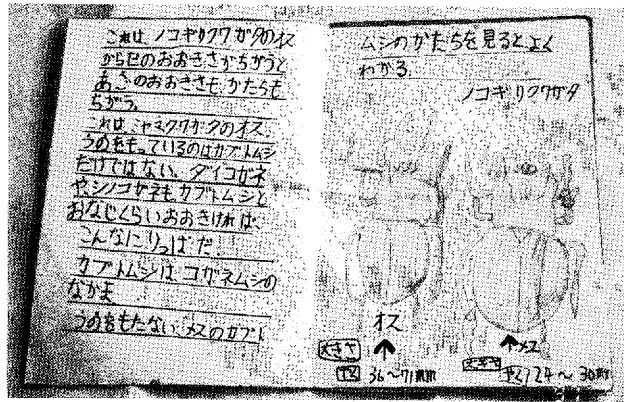
3次授業仮説 ●生き物不思議発見『絵本』作りを行なえば調べた事を文章に書き表わし、絵をいれて『絵本』を作り発表する事により生きいきと学習し、個性を發揮し、よさを伸ばす学習が実現するであろう。

- 1時…図書を使って、各自の課題をみつけ、調べたいこと、わかったことを読み取り下書き用のワークシートNo.10に書く。
- 2時…要点をおさえて絵本の文が書ける。
- 3時…文に合った絵が描ける。
- 4時…一冊の絵本にまとめる。
- 5時…表紙の題名を書き入れて装丁する。
- 6時…自分の絵本を紹介する。

児童が書いた下書き用ワークシートNo.10

<p>知りたいな、ふしぎだは発見カード (あきね)</p> <p>調べたこと</p> <p>モモンがは、むせ、とべるのがむせ?</p> <p>調べること</p> <p>本物のわたり</p> <p>知ること</p> <p>知ること</p> <p>知ること</p>	<p>知りたいな、ふしぎだは発見カード (あきね)</p> <p>調べたこと</p> <p>モモンがは4つのあしをのぼるとひまがひうがりです。このひまくでさからさへとひうつります。しほやあしをほうこうをかえることかできません。げしどのようにとびまわることにはできません。モモンがは、4つのあしをのぼるとひまがひうがんだ。</p>
<p>知りたいな、ふしぎだは発見カード (あきね)</p> <p>調べたこと</p> <p>ほんしゅう・しこ・きゅうしゅうのしりん</p> <p>にすむ。</p> <p>木から木へむとびて50mもとべる</p> <p>ひるまは木のうろのすてやすむろ方からかつどうして木のむわかのこんちゅう</p> <p>うねとをたべる。</p>	<p>知りたいな、ふしぎだは発見カード (あきね)</p> <p>調べたこと</p> 
<p>知りたいな、ふしぎだは発見カード (あきね)</p> <p>調べたこと</p> 	<p>知りたいな、ふしぎだは発見カード (あきね)</p> <p>調べたこと</p> <p>それにこのひまくでさからさへとひうつることができません。</p> <p>わたししらねがたさでモ、本を見たくわしいことがしらねで、この本ができました。</p> <p>?おわりかね?</p>

児童の作った絵本



《結果》

- ・ 個性的な楽しく内容の豊かな絵本が出来上がった。
- ・ 自分の課題に沿ってよく調べ、要領よくまとめている。
- ・ 絵や数字も入れ、説明されている。
- ・ 楽しそうに生きいきと作っていた。
- ・ 資料探しも熱心に取り組みほとんどの児童が予定時間に仕上げる事ができた。
- ・ 目立たなくおとなしい児童が二冊も作った。
- ・ 楽しく勉強になったと感想を書いている。
- ・ 友達の作品に感心し、よさに気づいた。
- ・ 発表後は、満足そうに見えた。

《考察》

- ・ 課題解決で、自分の読み取る力を存分に発揮することができた。
- ・ 表現（情報生産）の力が高まった。
- ・ 自分のよさを伸ばす事ができた。
- ・ 個性を認めることができた。

児童の書いたワークシートの例

△ 続いてやめた実験

△ 次にケロコグは、どのような実験をしてみましたか。

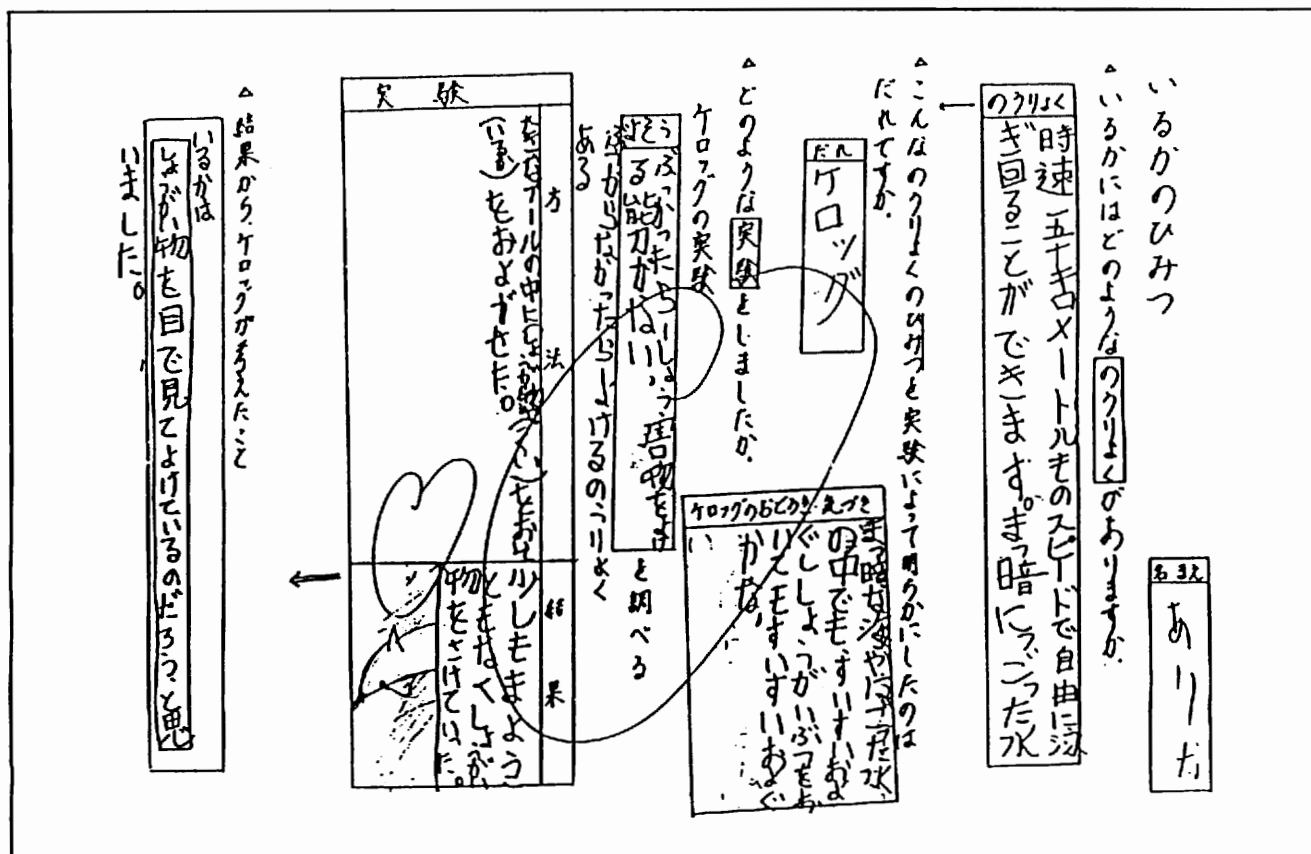
△ 結果からケロコグが考えたこと

△ 繰り返して

実験	
しめかかしをして、あたまを動かして、みえた。	方
をいらかは、目をこらして、みえた。	結果

実験	
板をいれ、板をいれ、みる。	方
なにかは、アラスチクにふつかることなどなかつた。	結果

実験	
「まぶくらな夜に、同じじら、昼まで、同じ」	方
目をこらして、みる。	結果



VI 研究の成果と課題

1 成果

- (1) 図書、映写の活用、メダカの飼育、観察を通して生き物への興味、関心、問題意識が高まり必要感のある学習が展開できた。
- (2) ワークシートの効果的な活用で、読み取る力、論理的思考力が伸び、自力学習の方法を知り自主的な学習態度が芽生えた。
- (3) 絵本作りや発表の場の場を設定することにより、読み取りの力や表現力を広げ、情報収集、活用、生産の能力を伸ばすことができた。
- (4) 児童の興味、関心、問題意識をもとにしたまとまりの活動を展開することにより、生きいきと活動し自分のよさを伸ばす学習ができた。

2 課題

- (1) 児童の疑問や課題の中には、質のよいものがあつたが、資料探し、読み取りにおいて力以上の技能が要求され、課題を修正した児童もいた。

このような知的興味、関心を学習活動の中で生かしていく手立のあり方の研究。

- (2) 学習で活発に発表した児童が、絵本をうまく仕上げるができなかった。このような子ども達に対応できる適切な援助のあり方の研究。

おわりに

6カ月の研修期間、めいっぱい頑張ったつもりですが、満足はいく深い研究ができなく今後とも継続研究の必要を感じます。

この6ヶ月間、研究テーマやワープロの操作も初歩から指導いただき、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。この研修の機会を与えて下さった、当山小学校の仲田校長先生並びに浦添市教育委員会および関係各位に深く感謝申し上げます。

困ったときは、温かく手助け、適切なアドバイスをくださいました、教科指導員の山城ちえ子先生、研究所の田中一郎所長をはじめ指導主事の先生方に心よりお礼を申し上げます。

主な引用文献・参考文献

- ・倉澤栄吉 「解説・国語単元学習」 東洋館出版社
- ・日本国語教育学会 「国語単元学習の進展開」・理論編・低学年編・中学年編 東洋館出版社
- ・小田迪夫・早坂五郎 「国語・実践指導全集・理解の指導」 日本教育図書センター
- ・香川大学教育学部、附属高松小学校著 「個が生きる認知過程の探求」 明治図書
- ・小田迪夫・渡辺邦彦・伊崎一夫 「二十一世紀に生きる説明文学習」 東京書籍
- ・西野範夫 「よさを生かし自分の可能性を実現する子どもたち」教育研究・平成9年8月号